

⑤ おぎじま 男木島 ズッコ山185m・コミ山 212.8m

2013年2月3日



【男木島(おぎじま)面積:1.34km² 周囲:5.0km

最高点:コミ山212.8m 人口:188人(H25)

飲食店:6軒 店:1軒 民宿:3軒 公衆トイレ:3か所

高松からフェリーで約40分

集落の中を坂道や石段が迷路のように広がる男木島は、歩く島です。港から映画『喜びも悲しみも幾年月』(昭和32年)のロケ地になった男木島灯台までは、30分です。隣接する『男木島灯台資料館』は元灯台職員住宅でした。

【男木島 ズッコ山185m・コミ山212.8m 山行記録】

最初のピークを目指して、8時40分に男木島港から出発しました。豊玉姫神社の境内を抜けて、三叉路を右へ行きました。が、登山口がわかりません。明瞭な踏み跡を登っていくと、すぐに笹藪に突入しました。



登山開始はいきなり笹藪



足元に注意して登ると、雑木林に着き、少し登ると石垣跡に到着しました。昔の畑跡のようです。ここを左に行くと、踏み跡に出会い、始めて赤テープがありました。ここまでは、我々が白いテープピンクテープを巻きました。

歩きやすい登山道をテープに導かれて登ると、ズッコ山(185m)のピークに着きました。次は、

最高峰のコミ山(212.8m)を目指して、尾根を下りました。ここには、赤と黄色のテープが導いてくれました。

再び登り返して、30分ほどでピークに着きました。ここも、展望は良くありません。頂上の標識はなく、三角点のみでした。

次は、<ジイの穴>や<タンク岩>、そして、灯台を目指して下りました。展望台まで下ると、立派な遊歩道と出合いました。やがて、<ジイの穴>や<タンク岩>や水仙の群生地を見て(まだ、最盛期ではありませんでした)

あの、木下恵介監督の名作「喜びも悲しみも幾年月」の映画(1957年公開)で有名な男木島灯台に着きました。帰りに、食堂で予め注文していて、食べて、13時のフェリーで帰る計画です。



ズッコ山(185m)の標識



コミ山(212.8m)のピークは山名の標識がありませんでした。



映画の舞台になった男木島灯台

先を急ぎましたが、あっという間に港近くの食堂に着き、余裕で食べれました。予定通りに13時のフェリーに乗って帰りました。